

令和4年度 学校経営方針

<目指す学校像・職員像>

「生徒に自信をつける」

生徒・職員・保護者・地域住民が誇れる

「二中プライド」を確立する

<学校教育目標・目指す生徒像>

- 自ら考え正しく判断し、積極的に実践する人間
- 明るく健康で、情操の豊かな人間
- 社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- 相手の人格や立場を尊重する人間

コミュニティ・スクールとしての学校経営

令和元年度に学校経営協議会を置く学校として再出発し、今年度は4年目の第二期を迎える。小平市内で初の試みである小中連携型の学校経営協議会の在り方やその効果を検証し、関係小学校との連携を密に図ることで、二中学区の小・中学校が地域コミュニティの中心となり、地域住民や保護者が安心して子供を任せることができる学校、9年間を見通した教育活動を実践していく。

教育目標達成のための10の取組

<学校経営の基本的な理念 「和 輪 話」>

学校経営の目的は、一言でいえば教育目標の達成である。「教育は人なり」と言われるように学校の教育活動の成果をあげるためには、全教職員の組織を通しての協力が必要であり、何をするにも「人の和を図る」ことが大切である。教育はチーム力であり、学校が安定し、まとまって動くには人間関係の円滑な運営に優るものはない。同じ職場に巡り会ったこの出会いを大切に、明るく楽しい、しかも意欲と活気に満ちた学校にしたい。そのために、お互いの良さを認め合い、温かく補い合って組織体の一員としての機能を十分に発揮できるようにする。仕事の厳しさの中にも協力的な温かい人間関係をつくっていきけるよう全職員で意識し些細なことから実行していく。

令和4年度学校経営の柱

- 1 新型コロナウイルス感染防止
- 2 「二中プライド」の確立
- 3 中学校区型CSの創造
- 4 「時を守り 場を清め 礼をただす」の実践
- 5 「気付く 考える 行動する やり抜く」の実践

【1】心身の健康の推進

- ① 新型コロナ感染防止対策
- ② 「二中プライド」の醸成
- ③ 生命尊重・道徳科の充実
- ④ 不登校生徒の対応

【2】授業改善

- ① 「二中スタンダード」の確立
UDに基づく授業づくり
ICT機器の活用
4人組の活動の充実
1単位時間の授業の充実

【3】生活指導

- ① 生徒理解と指導の徹底
- ② 生徒会と部活動の両輪
- ③ 保護者との連携
- ④ 朝読書の時間の充実

【4】進路指導

- ① 進学指導の充実
- ② 年間2回の三者面談
- ③ 生徒一人一人の
生き方指導

【5】地域&小中連携教育

- ① 学校支援CDの活用
- ② 小中連携型CSの発展
- ③ 地域人材・資源の活用

【6】環境整備と防災教育

- ① 月1回の施設点検の実施
- ② 教材としての学校づくり
- ③ 防災・避難訓練の充実
- ④ 避難所開設準備委員会発足

【7】校内研修

- ① 全員の研究授業の実施
- ② 主体的・対話的で
深い学びの実現
- ③ 一人一台PCの活用
(GIGAスクール構想の実現)

【8】特別支援教育

- ① 校内委員会の充実
- ② 特別支援教育の視点
- ③ A組からG組までの
職員の連携推進

【9】働き方改革の推進

- ① 校務のデジタル化推進
- ② 無駄のない仕事の実践
- ③ 整理整頓の実施
- ④ 服務事故防止

【10】学校事務

- ① 校内予算の適切な執行
- ② 光熱費等の節約
- ③ 学校環境の整備
- ④ 私費会計の管理